

令和元年度

宮城県地域年金展開事業実施結果



仙台東年金事務所
(宮城県代表年金事務所)

目 次

1 地域連携事業	P 2
(1)事業の取組状況	P 3 ~ 8
(2)取組状況の総括と今後の対策	P 9
2 年金セミナー事業	P 10
(1)事業の取組状況	P 11 ~ P 14
(2)年金セミナーアンケート結果(宮城県) ~「年金」に対するイメージ~	P 15
(3)取組状況の総括と今後の対策	P 16
3 地域相談事業	
(1)事業の取組状況	P 17 ~ P 18
(2)取組状況の総括と今後の対策	P 19
4 年金委員活動支援事業	P 20
(1)事業の取組状況	P 21 ~ P 23
(2)取組状況の総括と今後の対策	P 24
5 「ねんきん月間」「年金の日」の取組	P 25
6 令和2年1月開催宮城県地域年金事業運営調整会議 での主な意見への対応状況	P 26 ~ P 27
7 宮城県地域年金事業運営調整会議	P 28
8 年金事務所の取組	P 29 ~ P 34

1 地域連携事業

地域連携事業及び地域相談事業 重点取組方針

地域連携事業においては、市区町村、自治会、事業所、関係機関、関係団体等と連携し、制度改正等に関する周知・啓発活動を積極的に実施していきます。これらの実施にあたっては、地域型、職域型それぞれの年金委員と連携してのチラシ等の配付のほか、自治会や事業所等を対象とした制度説明会を実施していきます。

また、地域相談事業においては、幅広いニーズに応えられるよう、市区役所・町村役場、ハローワーク、大学、商業施設等様々な場所で出張年金相談を実施できるよう取り組みます。

(1) 事業の取組状況

自治体との連携

県内の市区町村職員を対象に、毎年金事務所で事務研修会等を開催しました。国民年金事務担当者に対し、情報誌「かけはし」を隔月発行し、制度周知及び情報共有を図りました。

また、市区町村発行の広報誌へ、公的年金制度の周知や年金出張相談及び保険料納付相談等の掲載依頼を行い、年金制度の周知等を図りました。

事務研修会開催状況

	平成30年度 実施回数	平成30年度 出席人数	令和元年度 実施回数	令和元年度 出席人数	備 考
仙台東	2回	14名	3回	29名	
仙台北	5回	542名	2回	27名	
仙台南	2回	20名	1回	10名	
石巻	2回	25名	1回	15名	
古川	2回	97名	4回	35名	
大河原	1回	15名	1回	9名	
計	14回	713名	12回	125名	

その他の取組

・仙台市役所職員を対象に退職セミナーを2日間開催し、合計478名の出席をいただきました。

関係団体等との研修会・説明会等の実施

各関係団体主催及び共催による研修会・説明会等への講師派遣を行いました。

また、宮城県社会保険協会発行の広報誌「社会保険みやぎ」による制度周知やハローワークでの離職者に対する国民年金の加入・免除手続き等の説明会の開催、適用事業所に対する事務講習会を実施しました。

関係団体等研修会等開催状況

	平成30年度 実施回数	令和元年度 実施回数	開催年金事務所	内 容
社会保険協会	9回	10回	仙台東・仙台北・石巻・古川・大河原	年金給付・適用事務
社会保険労務士会	3回	4回	仙台東・仙台南・石巻・大河原	適用業務
年金協会	7回	5回	仙台東・仙台北・仙台南・石巻・大河原	年金給付・年金制度
公共職業安定所 (ハローワーク)	47回	79回	仙台東・仙台北・仙台南・石巻・古川	国民年金適用・保険料免除
適用事業所	5回	8回	仙台東・石巻・大河原	年金給付・適用事務
その他	10回	12回	仙台東・仙台北・仙台南・古川・大河原	年金給付・適用事務
計	81回	118回		

その他の取組

- ・宮城野区保健福祉センター主催の「精神保健家族教室」での障害年金制度説明(仙台東)
- ・荒巻社会学校主催による年金制度説明(仙台北)
- ・ハンズ太白主催による障害年金研修(仙台南)

「わたしと年金」エッセイ募集の取組

年金事務所内において、「わたしと年金」エッセイ募集についてのポスター掲示を行いました。

また、プレスリリースを行い、広報誌「社会保険みやぎ」に記事掲載を依頼しました。

「わたしと年金」エッセイ応募状況

	一 般		学 生						合 計	
			中学生		高校生		大学生等			
	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1
全 国	119件	104件	53件	11件	929件	1,132件	53件	43件	1,154件	1,290件
東 北	19件	16件	0件	0件	17件	35件	1件	0件	37件	51件
宮 城	7件	2件	0件	0件	0件	0件	1件	0件	8件	2件

「第1回宮城県年金ポスターコンクール」の実施

宮城県内の中学生を対象に、年金をテーマにポスターを作成してもらう中で、公的年金を身近に感じていただき、制度への参加意識を醸成することを目的として開催しました。

応募状況につきましては、県内14中学校から92作品の応募がありました。その中から厳正な審査を行い各賞が決まりました。

また、学校法人仙台育英学園秀光中等教育学校では、学校内で行った厚生労働省東北厚生局長賞及び入選の授賞式の様子を学校法人仙台育英学園秀光中等教育学校のホームページに載せていただきました。

1 地域連携事業

○第1回宮城県年金ポスターコンクール
最優秀賞・厚生労働省東北厚生局長賞(各1点)・優秀賞(3点)

最優秀賞

宮城県古川黎明中学校
小松 真歩さん



優秀賞



宮城県古川黎明中学校
鈴木 凜子さん

厚生労働省
東北厚生局長賞

学校法人 仙台育英学園
秀光中等教育学校
鈴木 優香さん



優秀賞



学校法人 聖ドミニコ学院
聖ドミニコ学院中学校
庄司 心優さん



栗原市立金成中学校
二階堂 律希さん

○第1回宮城県年金ポスターコンクール 入選(9点)



登米市立豊里中学校
阿部 光紗さん



学校法人 仙台育英学園
秀光中等教育学校
小館 美冬さん



登米市立東和中学校
後藤 怜奈さん



富谷市立日吉台中学校
佐々木 陽向さん



名取市立第一中学校
後迫 昇汰さん



仙台市立第一中学校
小野口 力さん



仙台市立袋原中学校
吉田 せなさん



仙台市立袋原中学校
江畠 宏亮さん



仙台市立袋原中学校
長澤 奏汰さん

(2) 取組状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対策
<ul style="list-style-type: none">・自治体との連携した取り組みや広報誌等を活用した制度改正等の周知、関係機関、関係団体等への講習会や研修会への講師派遣を行い、公的年金制度の制度周知を積極的に行いました。	<ul style="list-style-type: none">・今後も、自治体や関係機関、関係団体等と連携し、公的年金制度や制度改正の周知等を行うため、広報誌への掲載依頼や講習会や研修会への講師派遣等に努めてまいります。
<ul style="list-style-type: none">・若年層への公的年金制度の啓発・周知を目的として、県内中学生に向けた、第1回宮城県年金ポスターコンクールを開催し、多くの中学生から応募をいただきました。	<ul style="list-style-type: none">・今後も継続的に年金ポスターコンクールを開催し、若年層に対して公的年金制度への更なる関心を持つていただけるよう積極的に周知してまいります。

2 年金セミナー事業

年金セミナー事業 重点取組方針

学生・生徒等の若年層を対象とした年金セミナーの更なる実施数の拡大を図り、公的年金制度が身近で重要なものであることを学んでいただくための周知を積極的に行っていきます。

また、受講者の年齢に近い若手職員を中心とした講師対応を開いていき、人前で話す力をより向上させていくとともに、受講者の要望に応じた教材の作成を進めていくことで、さらなる充実を図っていきます。

(1) 事業の取組状況

年金セミナーの実施状況

宮城県教育庁や仙台市教育局、高等学校長協会等の関係機関へ訪問し、開催の要請を行いました。また、地域年金推進員による積極的なアプローチ、各年金事務所からの管内各教育機関に協力依頼を行い、年金セミナー実施につなげました。



仙台第一高等学校での年金セミナーの様子

年金セミナー実施状況(年金事務所別)

年金セミナー実施状況	平成30年度実施校数	平成30年度実施回数	令和元年度実施校数	令和元年度実施回数	参考 (R2.2月～R2.3月の未実施校数)	参考 (R2.2月～R2.3月の未実施回数)
仙台東	11校	22回	12校	30回	0校	0回
仙台北	13校	18回	14校	17回	0校	2回
仙台南	8校	13回	9校	13回	1校	1回
石巻	11校	19回	11校	19回	1校	1回
古川	8校	13回	11校	14回	0校	0回
大河原	9校	11回	9校	12回	0校	0回
計	60校	96回	66校	105回	2校	4回

参考欄記載の未実施校数・回数は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった校数・回数です。

年金セミナー実施状況(教育機関別)

教育機関別 実施状況	平成30年度 実施校数	平成30年度 実施人数	令和元年度 実施校数	令和元年度 実施人数	参考 (R2.2月～R2.3月 の未実施人数)
大学、短大	10校	1,264名	12校	1,949名	82名
各種学校	15校	935名	13校	713名	87名
高等学校	34校	3,607名	40校	3,569名	40名
中学校	1校	11名	1校	8名	0名
計	60校	5,817名	66校	6,239名	209名

関係団体との共同開催

これまで、仙台国税局及び全国健康保険協会宮城支部と共同で開催してきましたが、昨年度からは新たに、宮城県社会保険労務士会との共同開催も開始しました。

○各関係団体との共同開催状況



東北学院大学で開催された、宮城県社会保険労務士会との年金セミナー共同開催の様子

教育機関別 実施状況	平成30年度 実施校数	平成30年度 対象人数	令和元年度 実施校数	令和元年度 対象人数
仙台国税局	5校	227名	8校	404名
全国健康保険協会 宮城支部	1校	105名	4校	341名
宮城県社会 保険労務士会	0校	0名	1校	138名
計	6校	332名	13校	883名

関係機関・関係団体への協力依頼、連携状況

昨年度は令和元年6月と令和2年1月の2度にわたり、宮城県教育委員会及び仙台市教育委員会、宮城県高等学校長協会を訪問し、エッセイ募集や年金セミナー開催のため各学校への協力依頼を行いました。宮城県高等学校長協会に対しては、総会において年金セミナーの案内チラシ配布の依頼を併せて行いました。

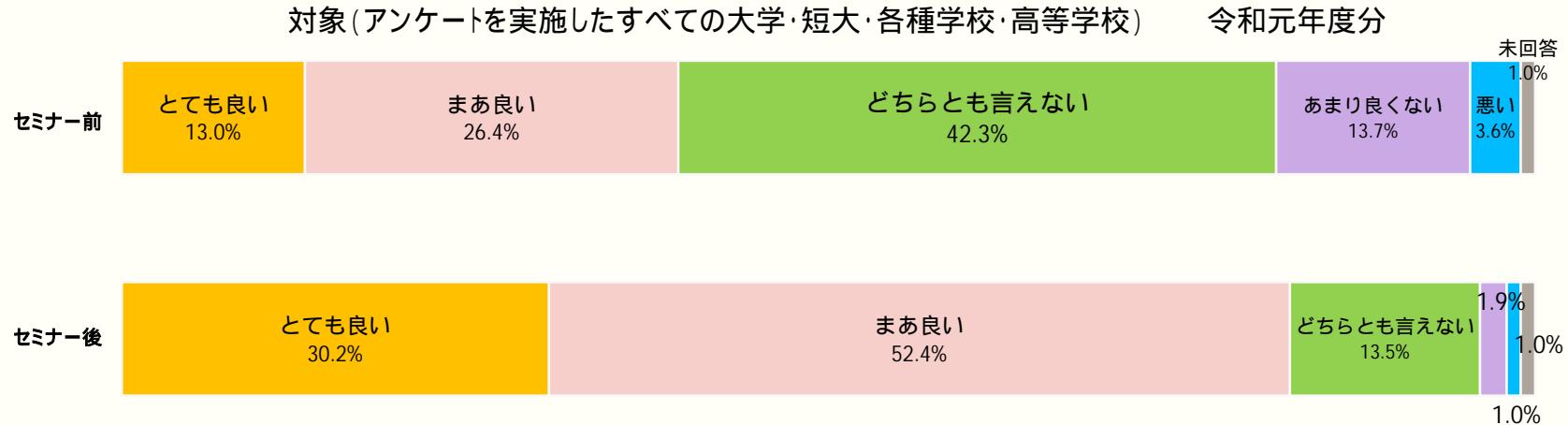
また、全国健康保険協会宮城支部及び宮城県社会保険労務士会、仙台国税局と連絡・調整を行い、他セミナーとの共同開催を実施し、学校側のニーズに合わせた取り組みを実施しました。

地域年金推進員の活動

地域年金推進員 は、宮城県内全域で統一した取り組みを行っています。地域年金推進員の新規開催に向けたアプローチと、前回実施した学校への再度開催に向けた訪問等の取り組みにより、年金セミナーを開催いただいた教育機関の件数は、平成30年度を上回りました。

地域年金推進員とは & 次代を担う若い世代（学生）に対して、公的年金制度の仕組みや基本理念について正しい理解の普及を推進するため、教職員 B、現役の教職員、学校との関係や学生へ伝える能力があると拠点長が判断する者を委嘱しています。
地域年金推進員は、学校への年金セミナー実施の依頼や打ち合わせ等の活動を行います。

(2) 年金セミナーアンケート結果(宮城県) ~「年金」に対するイメージ~



講義前の「まあ良い」以上は39.4%に対し講義後の「まあ良い」以上は82.6%と大きく増加。

<主なご感想>

- ・年金といえば老後のイメージが強かったのですが、今回のセミナーで、老後に限ったことではないことが分かりました。今回学んだことを周囲の人に教えてあげたいです。(高校生)
- ・今まであまり深く考えてはいなかったけれど、話を聞いて自分の身近にある話だと知り、年金についてきちんと調べようと思いました。(高校生)
- ・年金の細いことについて知ることができました。特に、場合によっては猶予、免除されることもあるということや、財源に税金が含まれているため、社会全体で支えている仕組みだということを知り、改めてきちんと納付しようと思いました。(大学生)
- ・毎月約1万6千円も保険料を納めなければならないというのは結構な負担になると思いました。大切だというのは分かりましたが、生活に余裕がない人達は大変だと思いました。(大学生)
- ・年金はきちんと納付すれば受け取れるとは思いますが、将来もらえる金額が減るのではないかと不安です。(高校生)
- ・障害年金のことは何となく知っていましたが、20歳前に障害状態になった場合でも受け取れることを知り、驚きました。今後障害のある方と関わりが増えていくので、何かあったとき障害年金のことを紹介できるようになりたいと思いました。(高校生)

(3) 取組状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対策
<ul style="list-style-type: none">・関係機関等への協力依頼や地域年金推進員の積極的な教育機関へのアプローチにより、年金セミナーの実施校数及び実施回数について増加しました。	<ul style="list-style-type: none">・今後も、より多くの学生・生徒の皆様に年金セミナーを受講していただけるよう、電話や訪問等によるアプローチを拡大していき、実施につなげてまいります。
<ul style="list-style-type: none">・各関係団体との協力、連携により、他セミナーとの共同開催について実施回数や受講生徒数が大幅に増加しました。	<ul style="list-style-type: none">・引き続き、教育機関からの要望に応じた年金セミナーを実施するため、各関係団体との更なる連携を図りながら、資料作成や講師の育成等を行い、公的年金制度の理解を深めていただけるよう努めてまいります。

3 地域相談事業

(1) 事業の取組状況

市町村での出張年金相談

年金事務所において、遠隔地にある市町村での出張年金相談を実施しました。

出張相談実施状況

	実施場所	平成30年度 実施回数	平成30年度 対象人数	令和元年度 実施回数	令和元年度 対象人数	備 考
仙台東	七ヶ浜町	1回	7名	1回	3名	ねんきん月間
仙台北	大和町	0回	0名	1回	2名	ねんきん月間
石巻	気仙沼市	242回	5,221名	240回	4,507名	毎日開催
石巻	南三陸町	6回	25名	6回	29名	隔月開催
古川	登米市	12回	97名	12回	96名	毎月開催
計		261回	5,350名	260回	4,637名	

気仙沼市での出張相談については、通年で場所を借用して年金相談を実施しております。

市町村・教育機関での国民年金納付相談

国民年金納付相談実施状況

	取組場所	実施回数	人数	備考
仙台東	東北大学、東北福祉大学、東北文化学園大学、七ヶ浜町	4回	21名	
仙台北	東北学院大学、東北福祉大学、東北大学、まほろばホール	4回	18名	
仙台南	東北学院大学、東北福祉大学、東北大学、東北文化学園大学	5回	14名	
古川	築館総合支所、南方総合支所	2回	33名	
計		15回	86名	

商業施設等での出張相談

- ・イオンスタイル仙台卸町で社会保険労務士会と年金協会との連携による出張相談(仙台東・仙台南)
- ・AERで社会保険労務士会仙台支部との共催による出張相談(仙台北)
- ・せんだいメディアパーク、イオンスーパーセンター栗原志波姫店で東北管区行政評価局との連携による1日合同行政相談所での出張年金相談(仙台東・古川)
- ・イオンモール富谷で年金協会との連携による出張相談(仙台北)
- ・イオンモール石巻で年金協会との連携による出張相談(石巻・古川)

(2) 取組状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対策
<ul style="list-style-type: none">・今年度についても、学生納付特例事務法人の指定通知書交付式において、相談ブースを設置し、学生の皆様に年金記録の確認や学生納付特例等の相談を行いました。	<ul style="list-style-type: none">・今後も引き続き、大学や専門学校等の教育機関において開催する年金相談会の実施に向けて、各教育機関との連携を図ってまいります。
<ul style="list-style-type: none">・遠隔地にある市区町村や商業施設等で出張相談を実施しました。また、ハローワーク仙台、ハローワーク古川に加え、ハローワーク石巻でも離職者を対象とした説明会を行い、国民年金への加入や免除等の周知を行いました。	<ul style="list-style-type: none">・自治体や各関係機関との連携を図り、出張相談開催に向けての依頼や相談会における職員の派遣などを行い、更なる拡充に努めてまいります。

4 年金委員活動支援事業

年金委員活動支援事業 重点取組方針

様々な制度改正等が行われているなか、正しい年金制度の知識や手続き等を周知することは重要であることから、地域型、職域型それぞれの年金委員の活動に対して定期連絡会や年金委員研修等を実施することにより、情報発信の充実を図り、必要な情報提供を積極的に行っていきます。

また、関係団体等への働きかけを強化し、委嘱拡大に向けた取組みを行っていきます。

(1) 事業の取組状況

年金委員への研修会、意見交換会の実施状況

職域型年金委員に対しては、宮城県社会保険委員会連合会や各社会保険委員会による研修会等へ講師を派遣し、年金制度や制度改正の研修等を行いました。また、年金委員の表彰式と併せて研修会を実施し、従業員の方々への周知や広報を依頼しました。

地域型年金委員に対しては、連絡会を開催し、年金制度の概要や制度改正についての周知を行うとともに、地域におけるより良い公的年金制度の周知・啓発活動等について意見交換を実施しました。

また、東北厚生局に依頼し、東北厚生局職員を講師として派遣いただき、年金制度の現状について解説していただきました。

年金委員研修会等実施状況



地域型年金委員連絡会において講話をされる
東北厚生局職員及び会場の様子

	職域型年金委員研修会			地域型年金委員研修会		
	平成30年度 回数	令和元年度 回数	令和元年度 未実施回数	平成30年度 回数	令和元年度 回数	令和元年度 未実施回数
仙台東	10回	5回	3回	5回	4回	0回
仙台北	3回	4回	0回	5回	3回	0回
仙台南	5回	3回	0回	5回	4回	0回
石巻	5回	6回	1回	4回	3回	1回
古川	7回	6回	1回	2回	3回	1回
大河原	2回	2回	1回	5回	4回	0回
計	32回	26回	6回	26回	21回	2回

記載の未実施回数は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった回数です。

年金委員表彰式の実施

多年にわたり年金事業の推進及び発展に貢献された年金委員の方々に、年金委員功労者表彰伝達式を開催しました。

開催にあたり、宮城県社会保険委員会連合会及び全国健康保険協会宮城支部、宮城県社会保険協会との共催により実施しました。

開催日 令和元年11月22日

開催場所 ホテルメルパルク仙台

表彰対象	厚生労働大臣表彰	2名
	日本年金機構理事長表彰	6名
	全国健康保険協会理事長表彰	4名
	日本年金機構理事表彰	16名
	全国健康保険協会宮城支部長表彰	13名
	仙台東年金事務所長感謝状	5名
	仙台北年金事務所長感謝状	5名
	仙台南年金事務所長感謝状	5名
	石巻年金事務所長感謝状	5名
	古川年金事務所長感謝状	3名
	大河原年金事務所長感謝状	2名
	(一財)宮城県社会保険協会会长表彰	1名



表彰伝達式の様子

年金委員の委嘱拡大に向けた取組

加入者20人以上の事業所を対象とした新規委嘱の勧奨や職域型年金委員が退職・解嘱される場合に、地域型年金委員への委嘱替えの依頼を行いました。

また、全国健康保険協会宮城支部より新規委嘱を受けた健康保険委員のうち、日本年金機構への個人情報の提供に同意をいただいた方に、年金委員の委嘱勧奨を行ったほか、関係団体に地域型年金委員の新規委嘱の勧奨を行いました。

年金委員委嘱者数

	職域型年金委員数		地域型年金委員数	
	平成30年度末現在	令和元年度末現在	平成30年度末現在	令和元年度末現在
仙台東	415名	430名	21名	22名
仙台北	537名	531名	32名	26名
仙台南	438名	429名	20名	18名
石巻	504名	508名	21名	20名
古川	526名	543名	17名	18名
大河原	285名	283名	7名	8名
計	2,705名	2,724名	118名	112名

(2) 取組状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対策
<ul style="list-style-type: none">・年金委員へ研修会や連絡会等を実施し、制度改正等の、活動に必要な情報提供を行いました。	<ul style="list-style-type: none">・今後も、定期的な研修会や連絡会等の実施や意見交換会を行い、情報提供の充実を図ってまいります。
<ul style="list-style-type: none">・職域型年金委員については微増となっていますが、地域型年金委員については減少傾向となっています。	<ul style="list-style-type: none">・引き続き、新規委嘱の勧奨や職域型から地域型への委嘱替えの依頼、各関係団体への働きかけを積極的に行い、委嘱拡大に向けた取り組みに努めてまいります。

5 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

毎年11月を「ねんきん月間」、11月30日(いいみらい)を「年金の日」として、公的年金制度の普及・啓発活動に取り組みました。

また、取り組みにあたっては、宮城県社会保険労務士会や年金協会等の関係機関の協力をいただきながらを実施しました。

「ねんきん月間」における取組内容

	取組場所	事務所名	回 数	相談者数
学生納付特例申請の相談会	東北学院大学、東北福祉大学、東北大学	仙台東・仙台北・仙台南	3回	21名
国民年金保険料納付相談会	まほろばホール、七ヶ浜町、南方総合支所 他	仙台東・仙台北・石巻・古川・大河原	7回	61名
商業施設での相談会	イオンスタイル仙台卸町、イオンモール富谷、イオンモール石巻	仙台東・仙台北・仙台南・石巻・古川	3回	51名
年金セミナー	東北福祉大学、飛鳥未来高等学校、気仙沼市医師会付属高等看護学校 他	仙台東・仙台北・仙台南・石巻	7回	369名 (参加者)
年金ポスターコンクール	県内年金事務所(ポスター掲示) 宮城県古川黎明中学校 他(授賞式)	仙台東・仙台北・仙台南・古川	8回	12名 (受賞者)
年金協会と連携した 公的年金加入状況等調査	大崎市	古川	18日間 (取組期間)	50件

6 令和2年1月開催 宮城県地域年金事業運営調整会議での主な意見への対応状況

事業種類	ご意見の内容	対応状況
地域連携事業	年金ポスターコンクールについて、こんなに多数の応募をいただいているのであれば年金事務所以外の場所に掲示して皆様に見てもらった方が良いのではないか。	令和2年度開催予定の、第2回宮城県年金ポスターコンクールについては、県民の皆様に広く周知できるよう無料スペースを利用した展示に取り組んでまいります。
	支援学校での障害年金の制度説明会をお願いしたところ実施していただき、学校からは好評だったと聞いておりました。	宮城県内年金事務所において、管轄する地域に支援学校がありますので活動を定着化するよう努めてまいります。

事業種類	ご意見の内容	対応状況
年金セミナー事業	年金セミナーの実施時間についてはいくつかのパターンがあるのか。また、この時間内に実施してほしいというような要望には応えられるのか。	年金セミナーの実施時間につきましては決まった時間はありませんので、今後も各学校のご要望に沿った形で対応してまいります。
	中学校での実施数が少ないので、年金ポスターコンクールに絡めて実施していくと良いのではないか。	年金ポスターコンクールの実施にあたって、各中学校で年金セミナーについても実施できるよう努めてまいります。
地域相談事業	商業施設内の出張相談会の実施については、相談に来てくれる方が少ないため、いかに広報していくかが大事になる。	場所を借りるだけでなく、商業施設内の事前周知をしていただけるよう依頼していくように取り組んでまいります。

7 宮城県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がるよう、地域における支援のネットワーク等を構築し、地域に根ざした年金事業の推進を積極的に図ることを目的として、地域年金事業運営調整会議を開催しました。

第13回会議

【開催日】 令和元年7月18日

【議事内容】 ·平成30年度宮城県地域年金展開事業実施結果

·令和元年度宮城県地域年金展開事業 事業計画及び取組経過

·年金セミナー・知って役立つ健康保険セミナー・租税教室の共同開催

第14回会議

【開催日】 令和2年1月23日

【議事内容】 ·令和元年度宮城県地域年金展開事業
取組経過

·令和2年度宮城県地域年金展開事業
計画(案)

·第1回宮城県年金ポスターコンクール
実施結果報告



第14回会議の様子

8 年金事務所の取組

仙台東年金事務所

年金セミナー事業

令和元年度の実施回数につきましては、地域年金推進員の積極的なアプローチに加え、これまで開催することが出来なかった学校からも開催要請があり、平成30年度の22回を大きく上回る30回を実施することができました。

また、県内の年金事務所と連携して、校内複数クラスで同時に年金セミナーを実施することができました。今後も学校側の要望にお応えしながら、年金セミナーの更なる実施拡大に向けて取り組んでまいります。

地域相談事業

4月に東北文化学園大学・東北文化学園専門学校及び東北福祉大学で、東北厚生局との合同開催イベントによる「学生納付特例法人指定通知書交付式」を開催し、同時に学生への国民年金納付相談会を各学校内で行いました。学校側にご協力いただき、学生に対して事前周知を行ったこともあり、合計で36名のご相談をいただきました。学生の皆様からは、納付関連だけではなくご自身の年金の加入記録の確認など多くのご相談をいただきました。また、学生納付特例申請書の届出もあり、キャンパス内の相談会の必要性をあらためて感じました。

これからも学生向けの納付相談会等の開催に向けた取り組みに努めてまいります。



東北福祉大学での納付相談会の様子

仙台北年金事務所

年金セミナー事業

令和元年度は、早い時期から年金セミナー講師の体制を構築し、5月からスタートしました。順調に開催回数を重ね、3月末までの予定では、前年度を上回るところでしたが、新型コロナウイルスの影響で学校等が休校となり、年金セミナーも中止となつたため、開催件数は前年度に届かない結果となりました。年金セミナーを受講していただいた学生・生徒に対しては、20歳になると国民年金への加入が必要であり、保険料の納付義務が発生することや、保険料の納付が出来なくても学生納付特例を申請することにより、万が一の時に障害年金を受給することが出来ることなどを中心に、当事者として必要な知識を理解しやすく説明することを心がけています。

年金委員活動支援事業

令和元年度は、職域型・地域型の年金委員に対して研修会や連絡会を開催し、新しい情報の伝達・意見交換を行いました。

年金受給者支援給付金等の制度改正の周知や適用拡大等の今後の年金制度の方向性などについても情報発信を行い、職場や地域において公的年金制度の啓蒙活動に活かしていただきました。また、年金委員の委嘱拡大に取り組みました。

地域型年金委員の高齢化が進んでおり、委嘱期間の更新が難しくなる中で、市区町村や関係団体に推薦を依頼するなどして新たに委嘱される方を増やすことに取り組んでいます。



職域型年金委員研修会の様子

仙台南年金事務所

年金セミナー事業

令和元年度は、年金セミナーを9校13回実施しました。平成30年度の実施回数を上回ることを目標に実施してきましたが、3月に予定していたセミナーが新型コロナウィルスの感染拡大防止のため中止となった影響で実施回数は平成30年度と同数の開催となりました。

アンケート結果を見てみると、セミナー前の年金のイメージは「難しい」、「自分にはまだ関係ない」と思っていたのが、セミナー後には「理解を深めることができた」、「身近にある大切なものを感じることができた」など、その効果は地道ながらも手ごたえを感じているところです。

令和2年度は、これまでの取り組みに加え、講師の育成に努め、昨年度以上のセミナーを開催したいと考えています。



東北工業大学での年金セミナーの様子

地域連携事業

各種関係機関と連携し、ニーズに応じた内容で研修・講習会等の開催や講師派遣を実施しました。

主な取り組みとしては、障害者支援団体主催の研修会に講師派遣を行い、質疑応答を通じて障害を持たれているご本人・ご家族が日頃から感じている疑問や要望等についての情報交換を行いました。寄せられた意見・要望等については、反映できるものについては積極的に取り入れ、より分かりやすい研修会を実施することで多くの地域住民の皆様に制度周知を図ってまいります。

石巻年金事務所

○年金セミナー事業

令和元年度は11校、計19回の年金セミナーを実施しましたが、昨年度に引き続き開催した学校が大半を占めました。年金セミナー実施後は、「年金のイメージが良くなった。」、「年金制度は必要である。」とのプラスの意見が多くあり、今後も年金セミナーの実施拡大が必要だと感じております。

また、今年度は初めて石巻支援学校で開催をしました。先生から「説明は噛み砕いて、ゆっくりとしてほしい。専門用語は使わないようにお願いします」とのご要望がありましたが、講師からは専門用語が多かったとの反省もあり、対象者に合わせたわかりやすい説明を心掛け、取り組んでいきたいと考えております。



石巻支援学校での年金セミナーの様子

○地域相談事業

令和元年度の出張年金相談件数は、気仙沼出張年金相談所において4,507件(一日あたり平均18.7件)、南三陸町出張年金相談は29件(隔月奇数月)実施致しました。受給開始年齢の引き上げにより男性の請求が減少したことから、相談件数は昨年度に比べ減少しました。出張相談は事前予約を基本としているため、お待たせ時間の短縮にもつながっております。

また、事前に相談内容を確認し相談をすることで、お客様へのプラスワンの説明と、複雑な案件も簡潔に説明することができ、お客様に寄り添った対応に結び付いております。

古川年金事務所

年金セミナー事業

令和元年度の実施回数については、地域年金推進員の積極的なアプローチを行った結果、未実施であった学校からの要請もあり、1月までに14回のセミナーを実施しました。年末から1月までの集中したスケジューリングにより、新型コロナウイルスの影響を受けることなく前年度実績を上回ることができました。

令和元年度は、受講生の年齢に近い若手講師陣に一新し、所内や、地域型年金委員の皆様の前で模擬セミナーを実施するなどトレーニングと体制を整えてきました。

今後もより質の高い年金セミナーが開催できるよう引き続き講師の育成に努め、昨年度以上に充実した内容となるよう取り組んでまいります。

地域連携事業

県内中学生を対象として9月に実施された「第1回宮城県年金ポスターコンクール」において、当管内の生徒が最優秀賞及び2つの優秀賞を受賞しました。後日、受賞式を行い受賞者に対して所長より賞状を授与しました。受賞した生徒はもとより、校長先生をはじめとした学校関係者の方々にも公的年金制度を身近に感じていただき、制度への参加意識を醸成するため今後も取り組んで参ります。



金成中学校での授賞式の様子

写真の掲載については、ご本人の了承をいただいている。

大河原年金事務所

年金セミナー事業

令和元年度は、管内の学校9校(大学1、専門学校1、高校7)に対し、前年度より実施回数を増やし開催することができました。セミナー受講後のアンケートから、受講前と受講後の年金のイメージの変化や制度に対する率直な意見もいただいており、制度広報の重要性を改めて認識しております。

今後も説明する限られた時間を有効なものとするため、講師のスキル向上を図り、年金制度の正しい知識や手続きを理解していただけるよう取り組んでまいります。

また、令和2年度は、これまでの実施校の継続開催や拡大を図るため、積極的にアプローチを進めてまいります。



仙台大学での年金セミナーの様子

年金委員活動支援事業

令和元年度は、職域型年金委員向けの研修会を2回、地域型年金委員連絡会を4回実施したほか、地域型年金委員の企画により年金出前講座が複数の地域で開催され、講師を派遣して制度広報を行ってまいりました。

年金出前講座では、参加者と活発な意見交換が行われ有意義なものになり、地域型年金委員が積極的に広報活動を行い、その活動を支援していくことの重要性を実感しているところです。

今後も引き続き、委員活動を支援していくとともに、委嘱拡大に向けた取り組みを進めてまいります。